

# ミクロ経済学

月曜日 1・2 (18:00~19:30)

---

---

---

---

---

---

---

## 授業の目標

- 経済現象を個別主体の行動から分析するミクロ経済学の考え方を身につける。
- ミクロ経済学の用語や基礎概念を身につける。
- 簡単な経済現象をグラフや図によって説明できるようになる。

---

---

---

---

---

---

---

## 講義内容

- 消費者（家計）の効用最大化行動
- 生産者（企業）の利潤最大化行動
- 各完全競争市場の部分均衡や市場全体の一般均衡を吟味する。
- 経済の効率性
- 不完全競争市場の分析

---

---

---

---

---

---

---

## 講義スタイル

- 教科書に沿って進む予定
- プロジェクターの画面とホワイトボードの両方を用いる
- 講義資料はホームページに掲載
  - <http://home.hiroshima-u.ac.jp/okochi/>

---

---

---

---

---

---

---

## 教科書

西村和雄著

「現代経済学入門 ミクロ経済学」

岩波書店

ISBN978-4-00-026655-0

---

---

---

---

---

---

---

## 授業計画

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. イントロダクション     | 9. 企業行動と生産関数(1)         |
| 2. ミクロ経済学の方法     | 10. 企業行動と生産関数(2)        |
| 3. 市場機構と需要・供給(1) | 11. 企業行動と費用関数           |
| 4. 市場機構と需要・供給(2) | 12. 企業の長期費用曲線と市場の長期供給曲線 |
| 5. 市場機構と需要・供給(3) | 13. 完全競争市場と効率性(1)       |
| 6. 消費者と需要(1)     | 14. 完全競争市場と効率性(2)       |
| 7. 消費者と需要(2)     | 15. 完全競争市場と効率性(3)       |
| 8. 消費者行動と需要曲線    |                         |

---

---

---

---

---

---

---

## 成績評価の方法

- ほぼ毎回行われる小テストと中間・期末テストの結果を総合して成績を評価する
- ウェイト
  - 小テスト 20%
  - 中間試験 30%
  - 期末試験 50%

---

---

---

---

---

---

---

## 小テストについて

- 授業で解説した問題
- 教科書の例題・練習問題
- 授業の理解の程度を測るもの
- 授業終了後に提出

---

---

---

---

---

---

---

## 定期試験について

- 試験範囲は、授業でカバーしたところ
- 適語記入、正誤判定、計算・論述問題を含む総合問題

---

---

---

---

---

---

---

## 履修する学生に期待すること

- 質問をしてほしい
  - なぜこのやり方、考え方ではまずいのか
  - この場合はそうだが、あの場合はどうか
  - 小テストに質問を書いても可
- ノートに集中しすぎないようにしてほしい
  - 本当に大事なことは話しの中にあるかもしれない
- 予習をしてほしい
  - 授業前に教科書をさっと読むだけでもよい

---

---

---

---

---

---

---

## 履修上の注意

- 機器のトラブルの可能性があるので、突然休講になることがあるかもしれないが、許してほしい
- 私語は迷惑するので、やめてほしい
- 携帯電話は鳴らさないでほしい
- 途中入室や退出は、周りに迷惑がかからないようこっそりしてほしい。

---

---

---

---

---

---

---

## 第1章 ミクロ経済学の理論と方法

経済学とはなにか  
経済学の方法  
市場経済の効率性  
生産可能曲線による分析

---

---

---

---

---

---

---

## 1.1 経済学とは何か

---

---

---

---

---

---

---

### 専門用語

- 経済学用語と日常用語
  - 貨幣      お金
  - 価格      値段
  - 希少性      まれ、量に限りがある
- 経済学用語は英語の翻訳
  - 微妙に意味がずれる
- 専門用語の意味を理解すること
  - 経済学の勉強には何より重要
  - そのうち慣れる？

---

---

---

---

---

---

---

### 財とサービス

- 財(Goods) :
  - 人々の要求を満足させるもの、こと
  - 狭義の「財」と「サービス」
  - 大概のものは財といえる
- 狭義の財
  - パン、米、衣類など物理的な財
- サービス (Service)
  - 郵便、教育、通訳、レンタカーなど非物理的な財

---

---

---

---

---

---

---

## 市場

- 市場 (Market)
  - 狭義の財やサービスが取引される
  - 抽象的
- 市場取引
  - 財の売買
  - 取引の対価
    - 財に対して価格
    - 労働サービスに対して賃金
    - 機械の手依拠するサービスに対してレンタル価格

---

---

---

---

---

---

---

## 稀少性

- 稀少性：
  - 人々の欲望を満たすほど多くないこと
    - 取引のために価格 → 経済財
    - 欲望を満たすに十分に存在 → 自由財
- 資源
  - 財・サービスを生産するための投入
  - 生産要素とも呼ばれる
    - 自然資源、労働、土地、資本財

---

---

---

---

---

---

---

## 選択

- 稀少性のためすべては手に入らない
- 選択の問題
  - 何を手に入れて、何をあきらめるか (妥協するか)
- 競合する選択肢
  - 防衛費と社会福祉予算
  - 交際費と食費
  - 外見と性格
- 経済学の問題 = 最適な選択

---

---

---

---

---

---

---

## 経済学の定義

- 経済学
  - 希少な財・資源を、競合する目的のために選択・配分する仕方を研究する学問
  - モデル分析
    - 経済を描写するモデルを用いて分析
- ミクロとマクロ
  - ミクロ：個々の家計や企業の行動を中心に
  - マクロ：経済全体を1つのものとして全体的に

---

---

---

---

---

---

---

## ミクロ経済学の仮定

- 他の事情を一定として
  - 複雑な経済の相互依存関係を単純化
  - 分析の対象外の変数を一定と仮定
- 経済主体の合理性
  - 合理性：ある目的に対して、適切な行動をとること
  - 合理・非合理は、目的に応じてきまる
  - 経済人の仮定

---

---

---

---

---

---

---

## 実証的と規範的

- 実証的経済学 (Positive economics) :
  - 理論あるいは事実をもって証明できることだけ
  - 現実はどうなっているのか
  - 理論的にはどうなるのか
- 規範的経済学 (Normative economics):
  - ある価値基準の下で、どう解決されるべきか
  - どうあるべきか

---

---

---

---

---

---

---